

集中治療部

1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	0人
講師(うち病院籍)	1人 (1人)
助教(うち病院籍)	2人 (2人)
助手(うち病院籍)	1人 (1人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	2人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合計	6人

2 教員の異動状況

土井 松幸 (講師) (H5.8.1～現職)
 谷口美づき (助教) (H21.7.1～現職)
 鈴木 明 (助教) (H22.2.1～現職)
 板垣 大雅 (診療助教) (H21.3.1～現職)

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	1編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(2)論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3)総説数(うち邦文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4)著書数(うち邦文のもの)	4編 (4編)
(5)症例報告数(うち邦文のもの)	2編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Sano H, Doi M, Mimuro S, Yu S, Kurita T, Sato S: Evaluation of the hypnotic and hemodynamic effects of dexmedetomidine on propofol-sedated swine. *Exp Anim* 59: 199-205, 2010

インパクトファクターの小計 [0.00]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 土井松幸: 鎮静・鎮痛薬投与の考え方とプロトコル. *呼吸器ケア* 8: 88-92, 2010
2. 土井松幸: デクスメトミジンの適応 より長くより広く. *日本集中治療医学会誌* 17: 471-473, 2010
3. 土井松幸: デクスメトミジンの新たな展開. *臨床麻酔* 35: 419-428, 2011

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 鈴木 明, 佐藤重仁: 回復室の退出許可. *日本麻酔科学会 (編) 周術期管理チームテキスト* 2010, (社)日本麻酔科学会, pp487-491, 2010.
2. 鈴木 明, 竹下明裕: ABO 型不適合輸血が発生した. 高崎眞弓, 河本昌志, 川真田樹人, 岡本浩嗣 (編) *麻酔科トラブルシューティング AtoZ*, 文光堂, pp476-478, 2010
3. 鈴木 明, 佐藤重仁: 手術の中止・延期を考慮する場合. 稲田英一 (編) *麻酔科研修ノート, 診断と治療社*, pp63-64, 2010.
4. 鈴木 明, 佐藤重仁: 前投薬のあり方. 稲田英一 (編) *麻酔科研修ノート, 診断と治療社*, pp65-66, 2010.

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 加藤弘美, 鈴木 明, 五十嵐寛, 板垣大雅, 足立裕史, 佐藤重仁: 全身麻酔後に対麻痺を生じた1例. *臨床麻酔* 34: 607-609, 2010.
2. 川島信吾, 板垣大雅, 足立裕史, 石井康弘, 谷口美づき, 土井松幸, 佐藤重仁. 右腋窩静脈アプローチ中の胸管誤穿刺を疑った1症例. *麻酔* 59: 1298-1300, 2010

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成22年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (250万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

鈴木明 (代表者)：基盤研究 (C) 三次元音声可視化装置を用いた複数呼吸音の同時解析
(250万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	1件	4件
(2) シンポジウム発表数	0件	2件
(3) 学会座長回数	0件	4件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	6件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際学会等開催・参加

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

M Doi: Indication of dexmedetomidine expanding longer and wider. 2010 Precedex International Evening Seminar. San Diego(USA), October 19, 2010

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 土井松幸：招請講演「麻酔深度モニタリング：AEP を用いて」。日本麻酔科学会第 57 回学術集会 6 月 5 日, 2010 年
2. 土井松幸：教育講演「麻酔深度モニタリング：AEP モニタの得手不得手」。日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 50 回合同学術集会 9 月 11 日, 2010 年
3. 土井松幸：セミナー「デクスメデトミジンの適応 - より長くより広く」。日本臨床麻酔学会第 30 回大会 11 月 5 日, 2010 年
4. 土井松幸：セミナー「聴性誘発電位モニター aepEX は、麻酔深度指標の標準装置となり得るか?」。日本臨床麻酔学会第 30 回大会 11 月 6 日, 2010 年

3) シンポジウム発表

1. 土井松幸：シンポジウム「敗血症の病態と治療の up-to-date」敗血症管理における鎮静と鎮痛。

日本麻酔科学会第57回学術集会 6月3日, 2010年

2. 土井松幸: シンポジウム「麻酔科はこんなに楽しい: 大学病院の麻酔科研修医」, 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第50回合同学術集会 9月11日, 2010年

4) 座長をした学会名

土井松幸: 日本臨床麻酔学会第30回大会

土井松幸: 第38回日本集中治療医学会学術集会

鈴木 明: 日本麻酔科学会第57回学術集会

鈴木 明: 第18回日本集中治療医学会 東海北陸地方会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

土井松幸:

日本集中治療医学会 評議員, 機関誌編集委員会委員, 用語委員会委員, 将来計画委員会委員

日本麻酔科学会 保険専門部会

日本麻酔・集中治療テクノロジー学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1)国際共同研究	0件
(2)国内共同研究	0件
(3)学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	0件

11 受賞

(3) 国内での授賞

土井松幸: 高柳記念賞「聴性誘発電位を用いた麻酔深度定量装置の開発」2010年12月

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 脳波による中枢神経障害の予後の早期予測法の検討

心肺蘇生後の脳障害の予後の早期予測を目的として, 皮質脳波モニターと聴性誘発電位モニターの比較試験を開始した。

2. 重症患者での血液ブドウ糖濃度連続測定を目指して、光テクノロジーを応用する方法と皮下組織のブドウ糖濃度測定を応用する方法の2つの研究を開始した。

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

1. 聴性誘発電位モニターは、麻酔深度定量法として長く研究を続けてきた測定法の脳障害予後判定への応用である。
2. 光テクノロジーを用いた血中微量物質定量法の研究成果を基礎にして、ブドウ糖濃度測定法へ応用した。